



八代市立千丁小学校 校長室だより

『チーム千丁』

令和8年度 第6号

文責 校長 服部 正
学校ホームページ QRコード
【フルカラー版が見られます】



【R8学校教育目標】 「ともに学び 豊かに育つ 夢をはぐくむ『チーム千丁』」 ～輝く笑顔があふれる 私たちの学校～

「やつしろスピリッツ(八代型小中一貫・連携教育)」 ～育ちと学びの土台づくり～

9/1(火)、1学期に引き続き千丁中の生徒会執行部と千丁小の児童会による「合同あいさつ運動」を行いました。千丁コミュニティセンターで避難生活を過ごされている方々や災害復旧に取り組んでいただいている皆さんに少しでも元気や感謝を届けようとの思いで実施しました。また、校内では、「靴を揃える」取組から2学期がスタートしました。八代市では、「やつしろスピリッツ」と銘打ち、①あいさつ②きかた③そろえかたに、小中学校が連携して取り組み、子供たちの育ちと学びの土台づくりを推進しています。2学期の教育活動の充実を図るために、育ちと学びの土台をしっかりとつくりま



いただいた善意を教育活動の充実に ～被災地支援への感謝と潤いのある学校生活～

2学期のスタートとともに、取材の依頼や被災した子供たちが少しでも元気になるようにと寄付の申し出が全国各地からありました。「必要な文房具を届けたい(小学生とその母)」「給食や休み時間に飲めるジュースを届けたい(鹿児島の大学生)」「酷暑でも室内で安全に遊べるおもちゃを届けたい(長野の高齢者)」「子供の心を癒やし、明日への力を育む本を届けたい(団体)」など、年齢や規模も様々です。いただいた温かい支援や申し出への感謝を胸に、教育活動の中で大切に活用していきます。



ようこそ先輩！教育実習生とともに ～キャリア教育、職業自立・社会的自立について考える～

本校卒業生の堤友紀乃さん[大学3年生]が、教育実習を行っています(期間 9/1～9/30)。実習生担当の有働先生の指導のもと、毎日3-2の子供たちと授業づくりや学級経営について学びを深めておられます。生き活きと何事にも取組、子供たちに積極的に関わる姿は、学校に新しい風を吹き込んでくれています。また、子供たちにとっても、進学や就職といったこれからの進路や職業選択についてイメージするキャリア教育のよい機会となっています。



身近な先輩の背中を手本として、自分の将来や夢の実現に向けて、今できることは何かを考え、具体的に行動してみましよう。新たな発見や可能性を得られることと思います。

『2026運動会テーマ』を決定しよう！ ～第3回代表委員会での議論の様子～

9/17(木)、来月開催の運動会のスローガンについて、代表委員会で話し合いが行われました。本議題の提案理由は、①スローガンを決めることで、児童が目標をもって練習や運動会に参加できるようにすること ②地震の被害を乗り越えようと頑張る姿を地域の皆さんに見ていただくこと ③みんなが楽しめる運動界にすることの3点です。各クラスから出された意見をもとに、活発に議論した末、以下のとおり決定しました。

「全力で戦い 笑顔で終わる 運動会」

＜理由＞ 地域の皆さんが笑顔になれるようにと、自分たちが全力でやっている姿を見てほしいから

10月に入ると本格的な練習が始まります。子供たちへの心身のサポートをよろしくお願いします。



PTA 愛校作業 お世話になりました ～運動会の舞台が整った 除草作業～

9/26(土)、午前6時半から「PTA 愛校作業」が行われました。岩田 PTA 会長、西地区委員長をはじめPTA執行部の皆さんが主導し、保護者の皆さん、教職員のみなで1時間程汗を流しました。夏休みの間、雑草でいっぱいだった運動場が、見違えるほどきれいになりました。気持ちよく運動会の練習をスタートすることができる舞台が整いました。地震後の様々な対応のある中、ご協力いただきありがとうございました。



「防災教育の視点から学校給食を考える」 ～「応急給食」から「通常給食」へ～

この度の大地震により給食センターが被災し、建物や調理機器の復旧、食材の調達、水の確保等が困難な状況に陥り「応急給食」が続きました。温かさや品数に物足りなさを感じることもあったでしょう。しかし、あの給食は命をつなぐ大切な防災食でした。防災教育で学んだ「支え合う心」を、感謝と行動に生かしたものです。

また、本校では多くの方々の懸命な復旧作業により、9/9(水)「通常給食」が再開されました。温かく栄養バランスのよい給食をいただける喜びは、決して当たり前ではありません。食事を支えてくださる方々への感謝を胸に、毎日の給食を大切にいただきます。

